

農業担い手移住就農促進事業

取組に至る背景・事業の目的

南信州地域の農業分野の担い手不足対策、地域農業の維持と持続への取り組みは、これまで行政やJA等が個々に行って来たが、同じ目的や課題を共有する各組織が一丸となってこれらに対応する必要があることから、「南信州・担い手就農プロデュース」を組織して活動している。

県をはじめ行政が取り組んでいる南信州移住促進事業等とも連携し、南信州の知名度、認知度の向上を図り、新規就農による移住定住事業を強化することを目的とした。

事業内容

- 1 まるごと南信州フェア in 名古屋
南信州地域PR、南信州での就農・移住に対する相談会、南信州産農産物を見て・触れて・食べてのPR展示
- 2 まるごと南信州フェア in 新宿
南信州地域PR、南信州での就農・移住に関する座談会開催、南信州産農畜産物販売による地域産物PR
- 3 南信州管内就農・就業相談会
地元の農業後継者及び新規就農者を発掘し、就農・農業法人への就職等に向けた相談会
- 4 南信州現地訪問見学会の実施
夏・初秋・冬の南信州の案内、農家訪問、農業者との交流、当地域農業についての講義、市町村職員との交流
- 5 就農&移住総合ガイドブック作成
就農による移住希望者との相談対応に使えるガイドブックを作成
- 6 農業求人サイト「あぐりナビ」活用による、南信州への誘致PR事業



【新宿での南信州フェア】



【南信州現地訪問見学会】

事業効果

就農・移住フェアは名古屋1回、東京1回、地元で1回実施した。その他民間が実施する農業人フェアや長野県が実施する相談会にも出展し、来年度「南信州担い手就農研修制度」への応募者5名を採用した。この研修制度は、市町村が地域おこし協力隊として採用する者をJAが研修生として受け入れるもので、当プロデュースが市町村・JA・地域振興局・広域連合と連携し、南信州での就農や移住を誘致したことの成果が発揮された1年であった。

また、この研修制度以外にも、松川町や阿智村では町村独自の研修制度を構築し、研修生確保にも至っている。農業法人への就業希望者とのパイプ役としても機能を発揮し、根羽村では研修生採用に至る農業法人ができた。

トータルでは12名が今年度南信州に移住し、内農業研修生は9名であった。事業を単年で終わることなく、官民が一体となり継続して取り組むことで成果につながった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

引き続き市町村・県・広域連合との連携を強化し、まずは「南信州」という地域全体のPR活動を積極的に行う。その中で「就農」「移住」については「農住」という表現に変更して相談対応を進め、地域農業の最大の課題である担い手不足解消及びリタイヤ農家の第3者承継への対応を含め、市町村等の移住定住事業と密に連携し、移住定住の促進にも寄与する。さらに次年度は南信州14市町村全てが当プロデュースに参画することから、農業法人との連携をよりいっそう進め、内外に示すことのできる新規就農サポート事業のモデル化を図りたい。

【選定のポイント】

JA、市町村、広域連合、県が連携して事業を実施した結果、前年度の実績を上回る成果をあげた。令和2年度は管内14市町村すべてが参画しており、南信州一体となった取組が期待される。

団体名	南信州・担い手就農プロデュース (飯田市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0265-52-6644	事業費	957,600円
ホームページ	https://shuunou.minamishinshu.net/	支援金額	766,000円